

基本構想

(修正部のみ)

1 構想の期間と芽室町の将来像

◆構想の期間

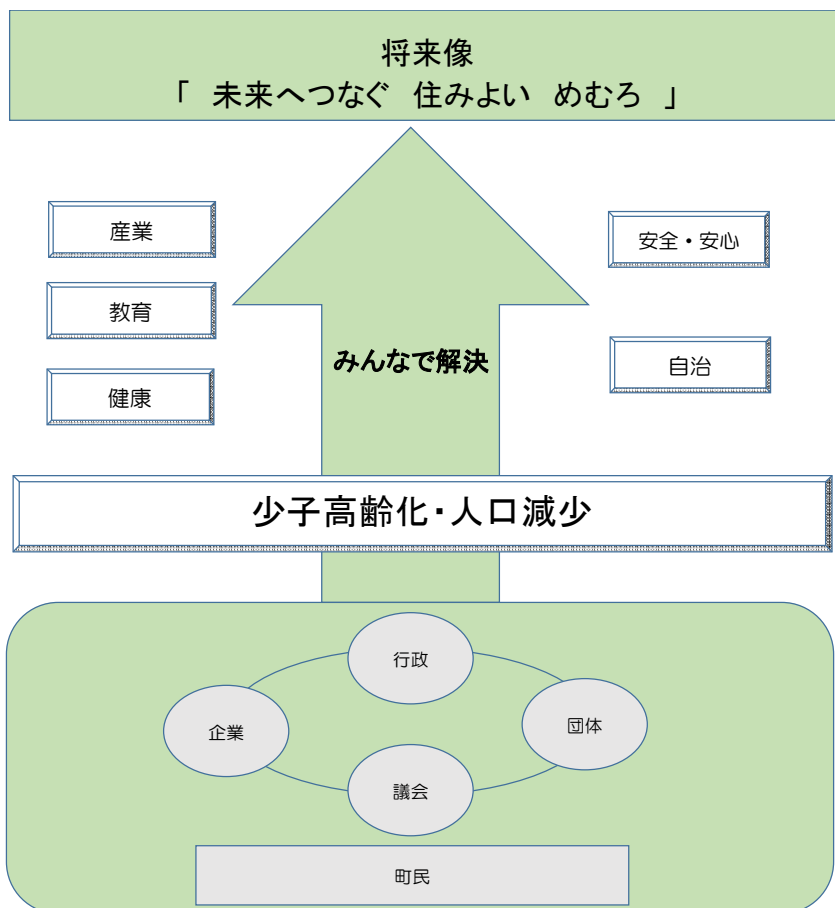
2027(令和 9)年度から 2034(令和 16)年度までの 8 年間とします。

◆将来像

第 6 期芽室町総合計画〔2027(令和 9)年度から 2034(令和 16)年度〕では、これまでの本町における総合計画の取組を引き継ぐとともに、人口減少や物価高騰等、目まぐるしく変わる社会情勢などの課題に対して、みんなで課題を解決し、先人たちから積み重ねられた町の歴史や文化、基幹産業の農業を中心として発展してきた産業などを次の世代へつなぎ、町民の皆さんが住んでいてよかったと思えるまちづくりを目指し、まちの将来像を次のとおり定めます。

未来へつなぐ 住みよい めむろ

■将来像を実現するイメージ



3 人口指標

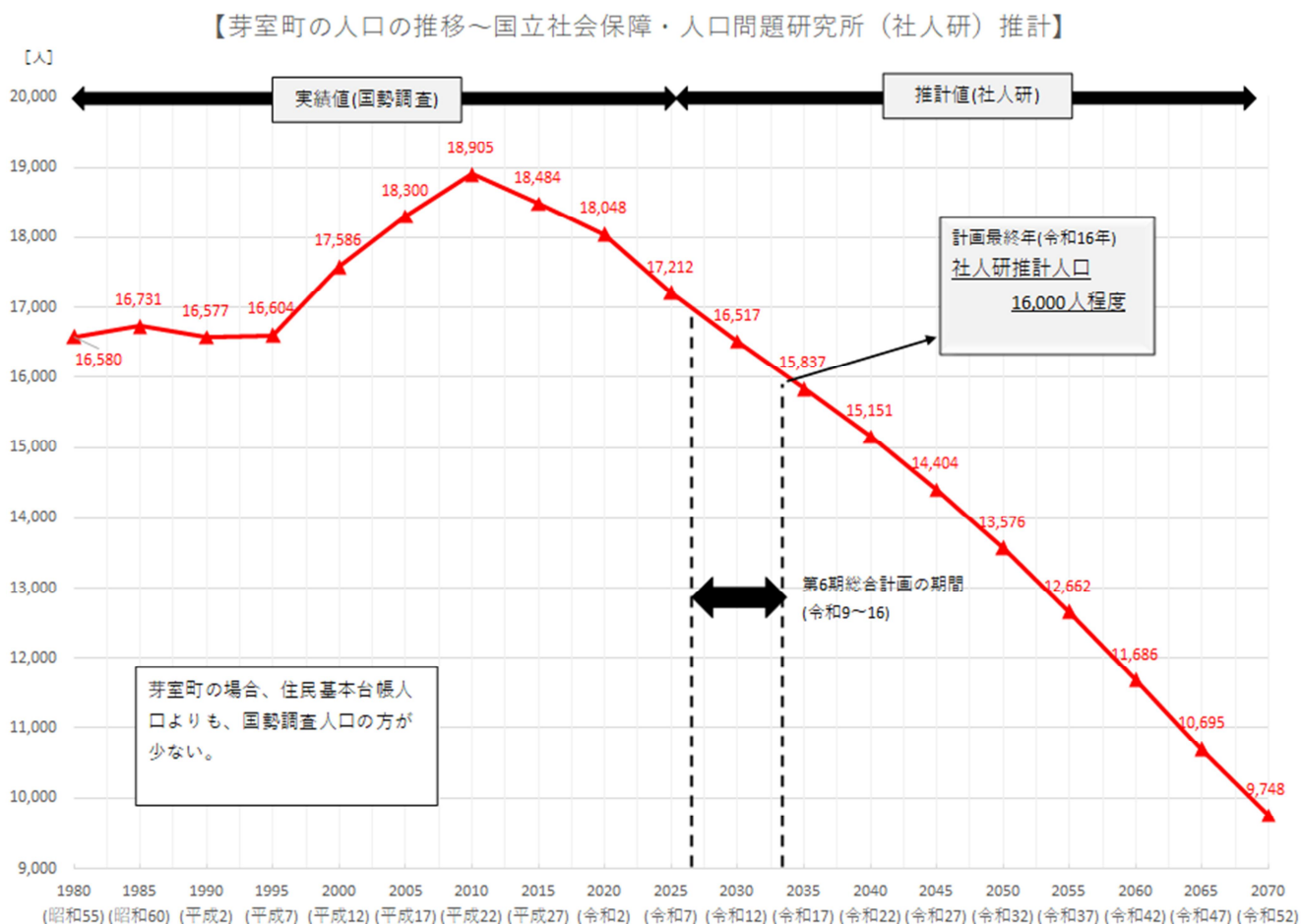
◆将来人口の見通し

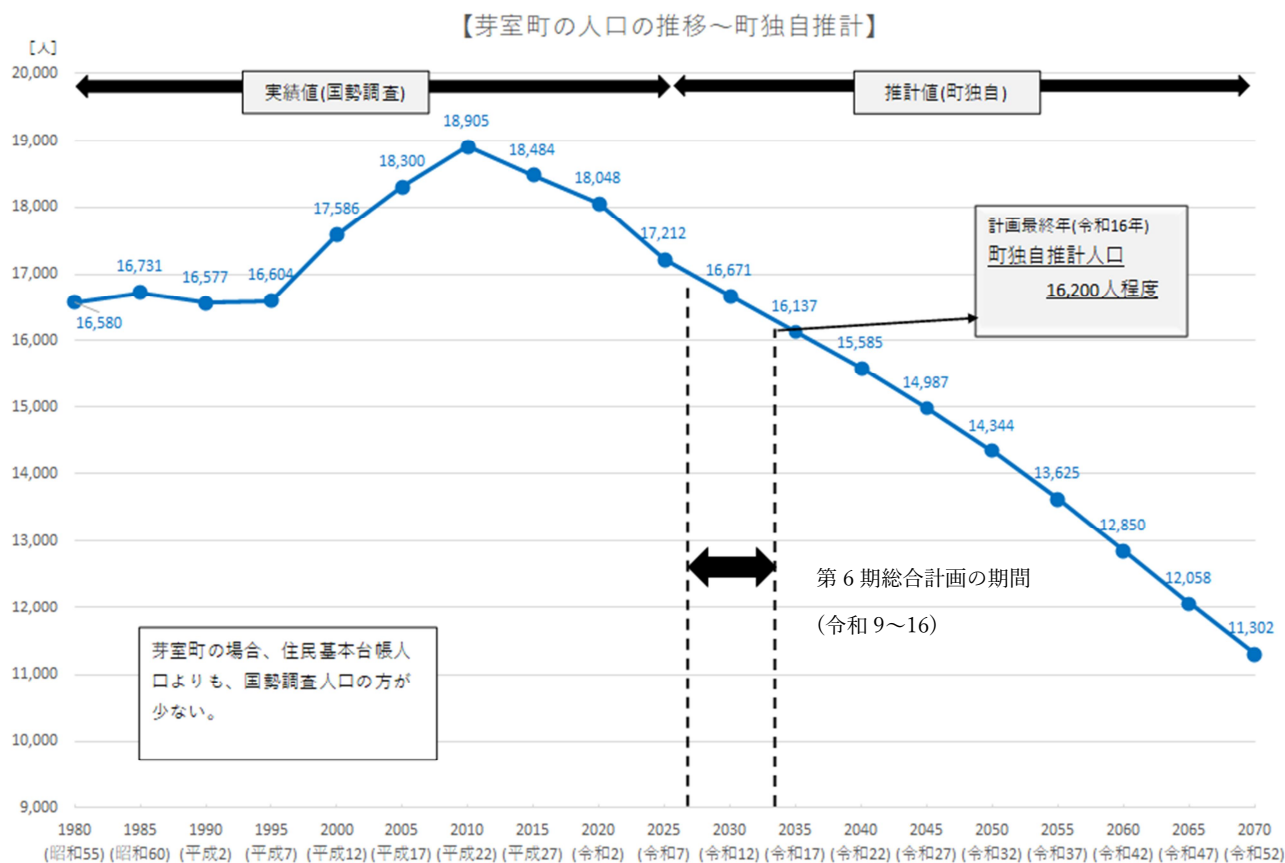
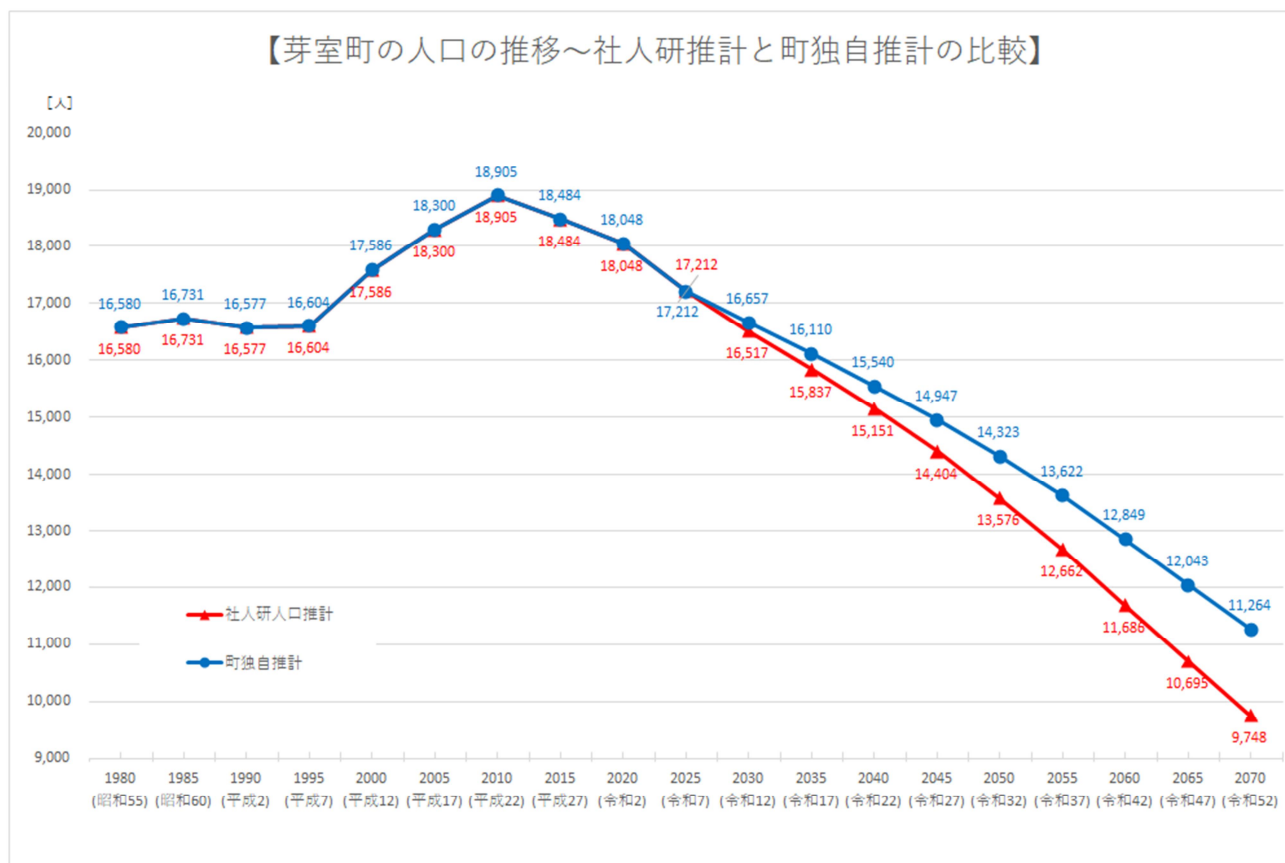
本町の人口は、1975（昭和 50 年）から 1995（平成 7）年頃までは、ほぼ横ばいで推移し、2002（平成 14）年度から開始した東芽室地区の宅地開発による帯広市など十勝圏域からの流入により人口が増加していましたが、2010 年（平成 22）年国勢調査をピークに人口減少に転じています。（以下、人口は国勢調査ベースの数値）。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、本町の人口は、2010（平成 22 年）の 18,905 人をピークに、減少の一途をたどり、2055 年（令和 37）年には 12,662 人にまで減少すると推計しています。

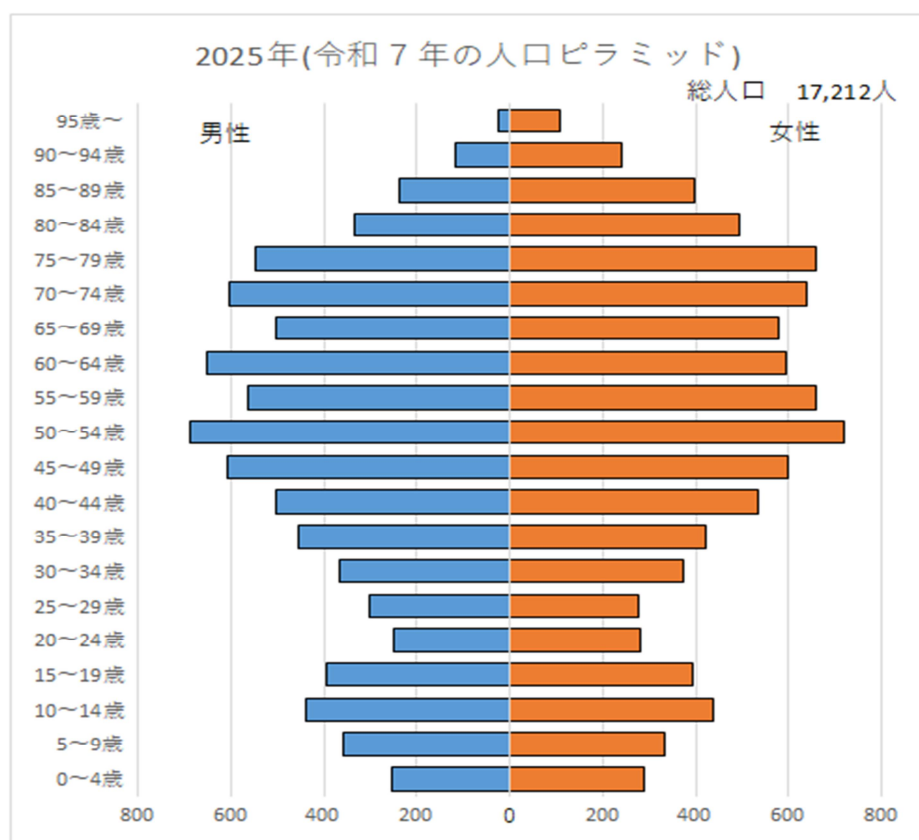
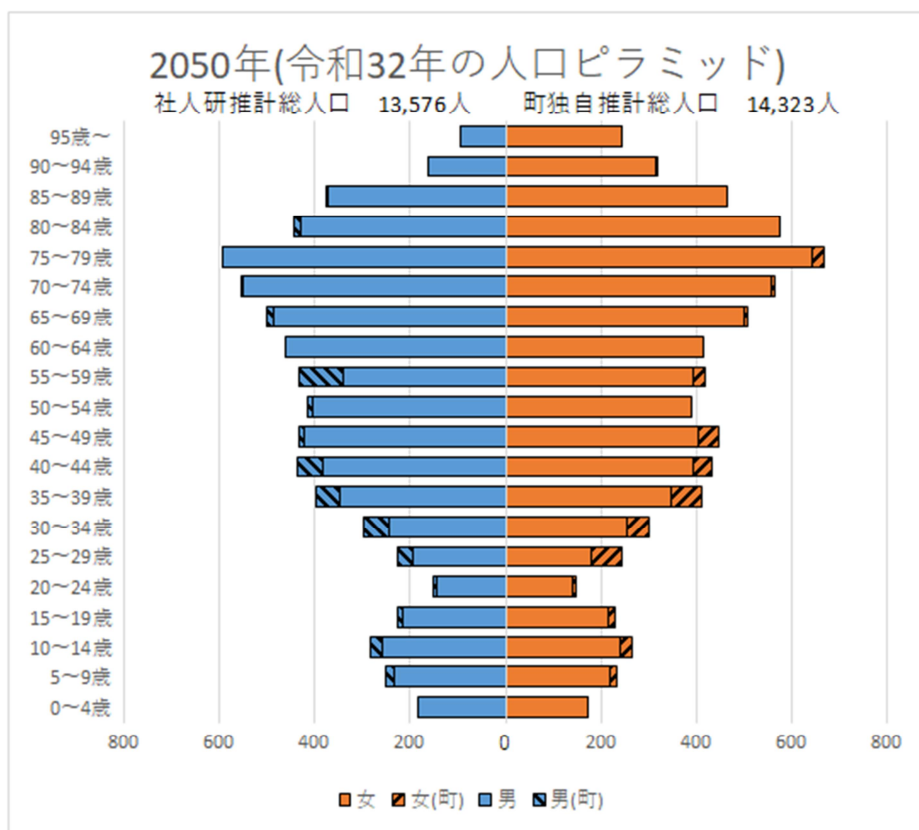
このような背景から、国においては、少子高齢化や人口減少に的確に対応するため「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、本町においても、2015（平成 27）年 9 月に「芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（総合戦略）を、2025 年 3 月に「第 3 期総合戦略」を策定しています。

なお、今後の本町の人口推計は、少子高齢化と人口減少への的確な対応など今後の施策展開により、2055（令和 37）年には 13,622 人、第 6 期芽室町総合計画の計画最終年となる 2034（令和 16）年は、16,200 人としています。



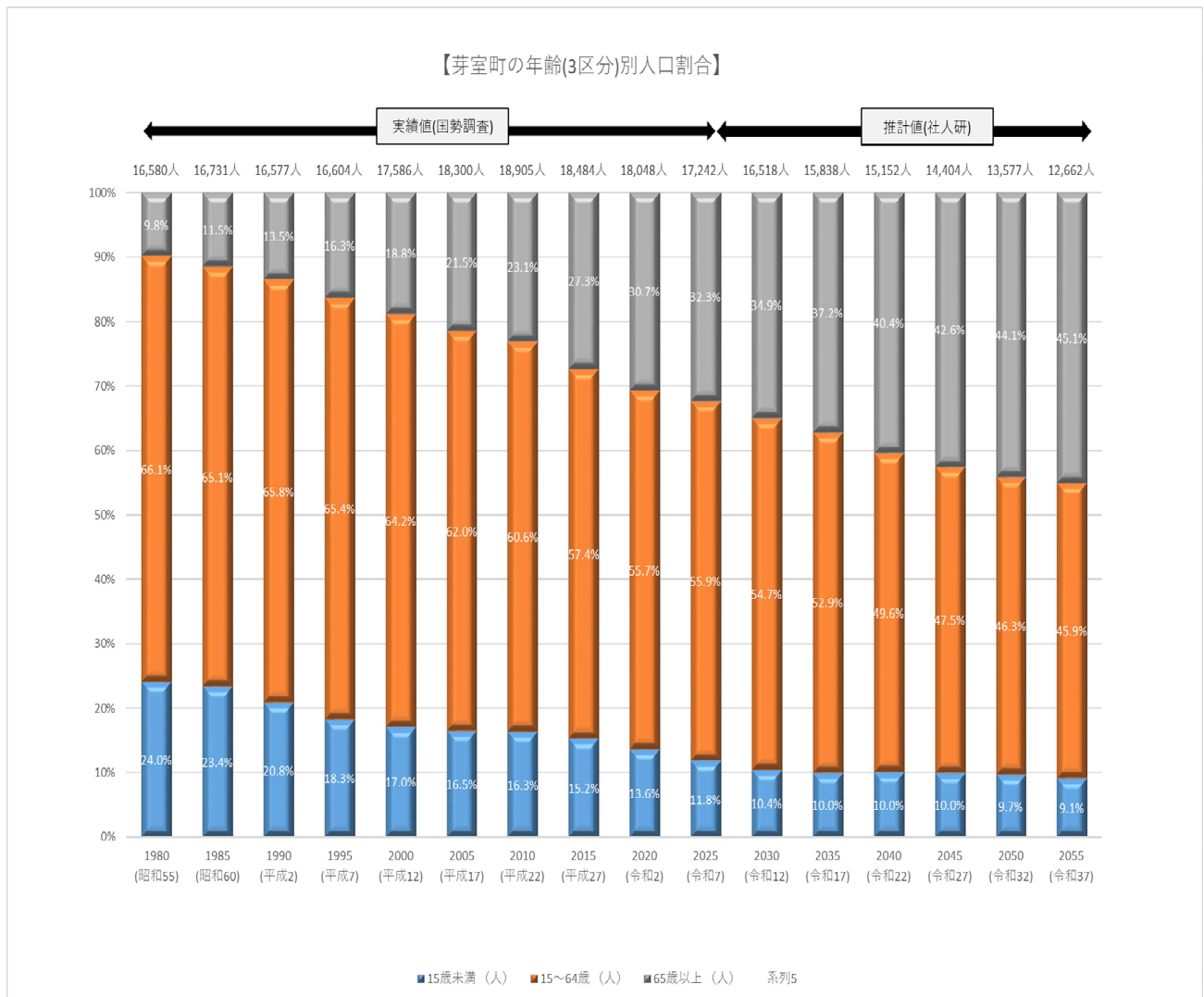


2025（令和7）年の人口ピラミッドと、社人研及び町独自推計の2050（令和32）年の人口ピラミッドを比較したものです。2050（令和32）年の人口ピラミッドのうち、斜線部分が町の施策が達成された場合に反映される推計の部分です。



◆年齢（3区分）別人口の見通し

2025（令和7）年国勢調査時点での本町の高齢化率(65歳以上)は、31.8%と全国平均(29.4%)を上回っており、なお上昇する傾向にあります。逆に年少人口比率（14歳以下）、生産年齢人口比率（15～64歳）は低下すると推計され、今後、本町における少子高齢化の傾向はますます強まるものと予測されます。



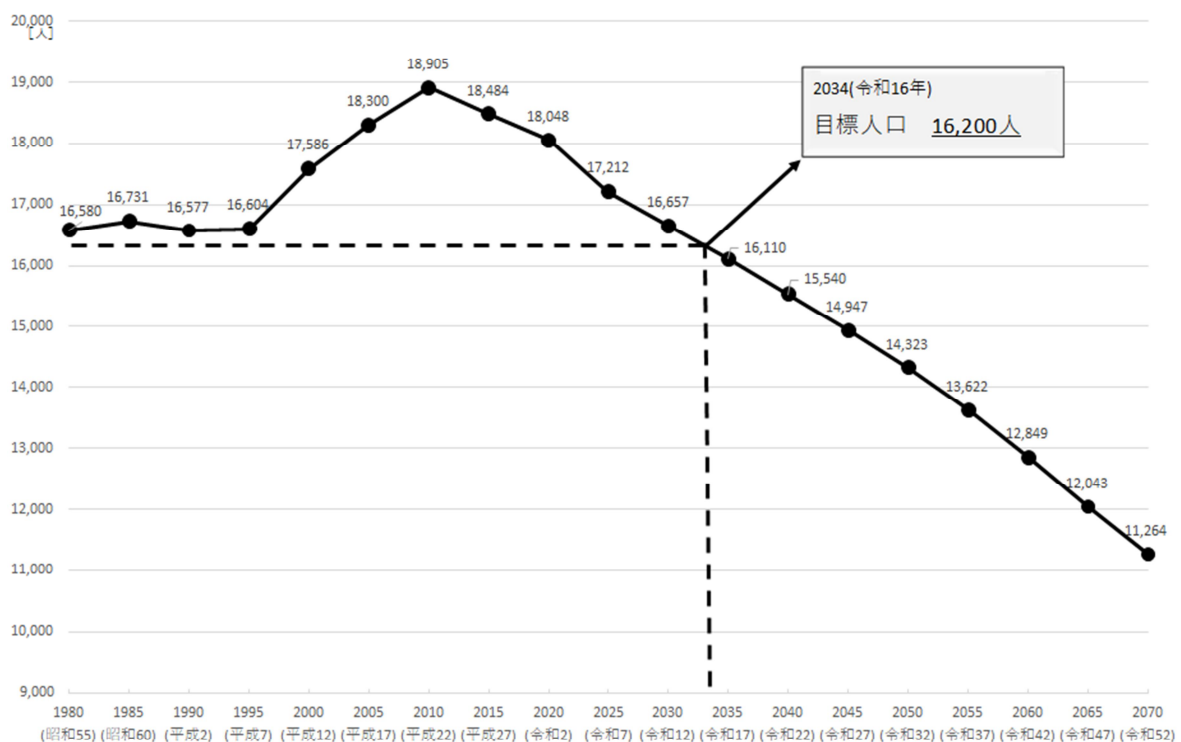
◆目標人口の設定

2034（令和16）年度における目標人口16,200人（国勢調査ベース）

本町の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所における推計を基にすると、第6期芽室町総合計画の最終年となる2034(令和16)年には、16,000人程度になると予測されており、人口減少がますます進むことが予測されています。この推計は2020(令和2)年の国勢調査を基準とし、将来の生残率や移動率などから算出されたものです。

本町としては、農業や商工業の振興、「夢育・郷育」を基軸にした教育、安心して生み育てることができる子育て支援施策、郷土愛の醸成など、町の施策の効果が着実に反映され、合計特殊出生率の維持や移住・定住を促進することで、2034（令和16）年度の目標人口を16,200人とします。なお、その際の年齢構成は、年少人口1,656人(10.2%)、生産年齢人口8,695人(53.7%)、高齢者人口5,849人(36.1%)としています。

区分	実績値 2025(令和7)	推計値 2034(令和16)	目標値 2034(令和16)
総人口	17,212 100%	15,973 100%	16,200 100%
年少人口(0～14歳)	2,105 12.2%	1,607 10.1%	1,656 10.2%
生産年齢人口(15～64歳)	9,630 56.0%	8,501 53.2%	8,695 53.7%
高齢者人口(65歳以上)	5,477 31.8%	5,865 36.7%	5,849 36.1%



【芽室町の2034(令和16)年度における目標人口】

6 基本目標と政策（施策の大綱）

未来へつなぐ 住みよい めむろ

1 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり

1-1 持続可能な農業の基盤整備と支援の強化

1-2 農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興

2 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり

2-1 豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実

2-2 地域文化の形成とスポーツ環境の充実

3 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり

3-1 いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり

3-2 安心して子育てできるまちづくり

3-3 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実

4 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり

4-1 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

4-2 快適な都市環境づくりの推進

4-3 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全

5 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり

5-1 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり

5-2 時代に即した行財政運営と行政サービスの推進

5-3 魅力を活かした、活気あふれるまちづくり